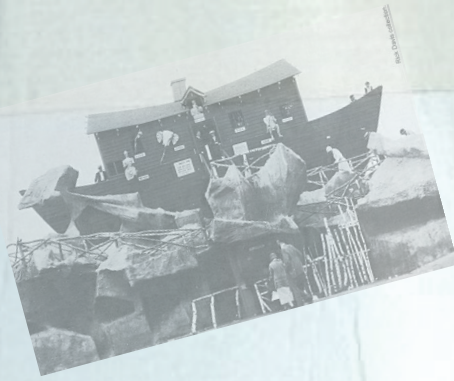


品書



詞書

ミームカフェ

- #001 『カンブリアン・ゲームを横切る社会』
案内人◎安齋利洋（アーティスト、エンジニア）
連画が紡ぐゲームがミームを育て社会を投影する。
- #002 『ミームメディアから文化へ』
案内人◎田中 讓（北海道大学知識メディアラボ）
情報の世紀、ミームを育てる可能性のメディアを見る。
- #003 座談放談『ミームと語る午後』
案内人◎和田雄志（財団法人未来工学研究所）
座談人
◎安齋利洋 ◎田中 讓
◎石戸奈々子（NPO 法人 CANVAS 副理事）
ミームから見る科学・アート・文化・社会のかたち。

- 期日 2009年2月22日（日） 13:00 - 17:00
- 場所 国際文化会館（講堂）
東京都港区六本木5-11-16
TEL 03-3470-4611
地下鉄六本木駅（3番出口）／麻布十番駅（7番出口）
- 料金 無料（メールによる事前登録制）
- 申し込み
cafe@memecafe.jp 宛に
「名前」「会社／団体名」「所属」「メール・アドレス」
を添えてお申し込みください。
- 主催（財）未来工学研究所

ミームと語る午後

構成 ● 石塚 徹

● 田中 讓

ミームの国からの使者

● 安齋利洋

ミームの庭を操る園丁

◎ミームは、1976年にリチャード・ドーキンスが『利己的な遺伝子』のなかで提出した概念です。彼は、文化の振る舞いと生物の振る舞いを重ね、伝承されたりかたちがうつろっていく文化の振る舞いに、ミームと呼ぶ遺伝子的なるものをあてました。ミームという社会と文化の動向は、科学にも技術にも、伝統芸能にもアートにも、生活にも流行にもひそんでいます。

◎ミームカフェは、そんなミームに遊びながら、社会・文化や科学・技術や伝統芸能・アートを再編集し、ふたたび放っていく空間です。ミームカフェは旅するカフェとして様々な場所を巡ります。

◎科学と文化の突端を走る科学者からアーティスト、パフォーマー、伝統工芸士から料理人、経営者、エンジニアまで。ミームカフェは科学と文化の無数の折り目に遊び、パフォーマンスからワークショップ、語りまで展開していきます。

●安齋利洋 / Toshihiro ANZAI

1956年東京生まれ。メディア・アーティスト。「連画」をはじめとするアートプロジェクトのほか、Super Tableau(1987)、Ramblers(1993)、moppet(1996)、天球作図機(1998)、InterWall(1998)、SpeechBalloon(1999)等、システム開発やインタラクティブ作品も手がける。Siggraph1994 Art&Design、第一回情報文化学会賞大賞(1995)、ArsElectronica 1997など受賞多数。

●田中 讓 / Yuzuru TANAKA

1950年京都市生まれ。74年から北海道大学工学部助手、同講師、同助教授を経て、90年同教授に就任、現在に至る。96年より北海道大学知識メディアラボラボトリー長。情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、人工知能学会、米国IEEE各会員。94年にIntelligentPadの開発に関して日経B.P技術賞大賞受賞。2002年度採択「21世紀COEプログラム：知識メディアを基盤とする次世代ITの研究」の拠点リーダー。

- コーヒーハウスをめぐる
広告の生まれた場所
政党の生まれた場所
ジャーナリズムの生まれた場所
会社の生まれた場所
保険の生まれた場所

- 2月22日をめぐる
1632年、ガリレオ・ガリレイが『天文対話』を出版
1848年、フランス二月革命がはじまり
1874年、高浜虚子が生まれ
1886年、フーゴ・バルが生まれ
1900年、ルイス・ブニュエルが生まれ
1976年、マイケル・ポランニーが亡くなり
1987年、アンディー・ウォーホルが亡くなり
1999年、NTTドコモがiモードサービスを開始

